

中野駅西側南北通路・橋上駅舎の整備について

中野駅西側南北通路・橋上駅舎の整備にあたり、東日本旅客鉄道（株）（以下「JR」という。）は、工事費の縮減と工程の短縮をめざし駅ビル計画内容見直しの検討を進めてきた。これまでの検討状況と今後の取り組みについて報告する。

1. 駅ビル計画内容見直しの検討状況

- 区はJRの駅ビル計画内容見直しにあたり、「区役所・サンプラザ地区再整備実施方針」（平成28年4月策定）で示した同再整備事業の竣工目標である平成37年度までの西側南北通路・橋上駅舎開業を目指し、JRに工程短縮の検討を求めてきた。
- 同実施方針では街区再編を目指す考えも示しており、道路一体建物（西側南北通路・橋上駅舎・駅ビル）と接続する新北口駅前広場等の公共基盤配置の方向性について、区はJRと情報共有を行ってきた。
- 区としてはJRに対し平成28年度内の駅ビル計画内容見直しの検討状況報告を求めてきたが、JRは駅ビル計画の技術的検討や事業性検討が終了しておらず、併せて区の公共基盤配置の方向性を踏まえた検討も必要なことから、作業にもう少し時間がかかるとしている。

2. 今後の取り組み

- 中野駅西側南北通路・橋上駅舎の整備については、平成29年度内に実施設計に着手することとしており、区はJRに対し駅ビル計画内容見直しの検討状況について6月までに報告するよう要請している。その後、JRと実施設計協定等の協議を行い、速やかな事業進捗を目指す。
- 区では区役所・サンプラザ地区再整備事業における公共基盤の配置にあたっては、新北口駅前広場がより安全で円滑な交通結節点となるよう検討を進める。新北口駅前広場と道路一体建物は接続することとなるため、JRと十分に協議・調整を行うとともに、西側南北通路・橋上駅舎の工期短縮の点も考慮し、整備内容の整合を図る。
- 駅ビル計画内容見直しの検討期間がさらに伸びる場合には、区として駅ビルの必要性も含めJRと再協議を行う。